

## 令和元年度岩手県支部総会開催報告

去る令和元年7月20日（土）、麻布大学岩手県支部総会並びに研修会を盛岡市の「つなぎ温泉ホテル大観」にて開催され、盛会に終了しましたことご報告いたします。大学からは、公衆衛生第一研究室の高木敬彦教授にご臨席頂き、最近の大学の目覚ましい進化と、近年の傾向や将来性など、限られた時間のなか本当に楽しくご講演頂きました。現役学生が小動物へ偏る傾向があるなかで、産業動物臨床へ興味を示す者も少なくなく、地方への就職の様子も感じられました。大学を取り巻く環境の変化や本学の目指す姿、また高木教授が力を注いだ付属高校の活躍など、参集者一同、大変興味深いお話をお伺いしました。

研修会の1題目は、獣医学部平成25年卒・NOSAI家畜診療所の渡辺康平会員より、「肋骨骨折に起因した気管狭窄症に対し肋骨切除を行った黒毛和種子牛の症例」について発表があり、難しい症例を治しただけでなく、販売金額も平均価格に近いものであったとの内容でした。質問も飛び交う活発な報告となりました。

2題目は、支部会名誉顧問・NPO法人環境パートナーシップ代表理事の野沢日出夫会員による「地球温暖化について世界と日本における動向」についての講演がありました。地球温暖化はまったなしの状況であり、石炭火力の規制・化石燃料を減らすといったことから、個人でできる事など詳しく丁寧な内容でした。

本県の総会形式は、ここ数年女性参加促進や若い会員の出席率を高めるために日帰り形式を試み夕方開催や昼食開催など模索しある程度成果がでましたが、宿泊を望む声もあり、今年度は宿泊としました。結果、女性の参加は少なかったことから、日帰りと宿泊を交互に行うなど、考えていきたいです。

（事務局：大野千明 S62 卒）

